



出会いの秋に(表紙・上記写真)

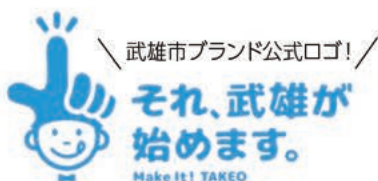
山内町宮野区。休耕田に地域の方が撒いてくださったというコスモスが見事に咲き乱れ、秋風に吹かれる情景に心が温かくなりました。

2020年も残すところあと2か月ですね。食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋…。みなさんはどんな秋を過ごされますか？

今号の特集は「武雄焼」。きっと素敵な器に出会えると思います。窯元のみなさんの想いを感じに、ぜひお出かけしてみませんか？

TAKEO

広報武雄 No.177 2020年11月号



CONTENTS

▶特集 武雄焼のある日常。 …04

ニュース 敬老の日～長寿をお祝いしました～
新型コロナ対策のため、ご寄附いただきました ほか …02

GOOD DESIGN AWARD 2020 受賞 …03

武雄市議会 9月定例会 …11

カレンダー …13

お知らせ 11月は「児童虐待防止推進月間」
令和3年度(2021年)武雄市成人式 2部制で挙行いたします …17

おたんじょうおめでとう …26

発行・編集／ 武雄市役所 企画部 広報課 ☎0954-23-9121
〒843-8639 佐賀県武雄市武雄町大字昭和12番地10
印刷／ 有限会社 四季の丘印刷



市長だより

今月の中報は、久しぶりに武雄焼の特集です。先日職員に「武雄焼の特徴って何だろうね？」と尋ねると、「普段使い、どすいね。」という答えが返ってきました。

武雄焼は日常生活を意欲した作品が多いのですが、陶器から石器まで、また伝統的技法を活かしたものからデザイン性を意欲したものまで、実に多様で幅広く、個性豊かな。この地ならではの「個性」と「多様さ」は、見方を変えれば、自分の生活を彩る一品が必ず見つかるということでもあります。ものの見方を少し変えると、新しい気付きがあるもの。武雄焼こそ、私たち誰もが「普段使い」できる焼き物なのです。

今日は市内各地で窯開きが行われます。感染予防に気をつけながら、ぜひ窯元を巡って、あなたの生活がちょっとうきうきする、あなた好みの一品を見つけてみてはいかがでしょうか。

武雄市長 小松 政